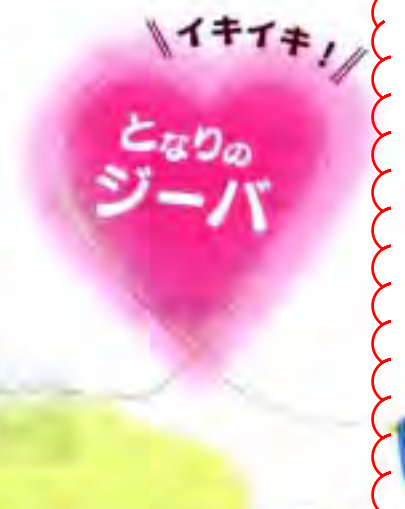


誰にでも訪れる老後。いつまでも元気にイキイキと暮らしたいですね。そのために必要になってくるのが、「自分らしくいられる場」ではないでしょうか。そんなお手本になるような「自場（ニジバ）」。をもつシニアを訪ね、イキイキと暮らすヒントを教えてください「コーナー」です。



取材当日は5歳の女の子からカラオケの修理依頼が



子どもたちからのお礼の手紙が、波多江さんの宝物!

趣味が「よかことしござる」と認められ、 また、それが生き甲斐に

波多江保彦さん (72)

子どもたちが困睡（かたす）をのんで見守る中、揃いの黄色のパンタナにエプロン姿の「ドクター」たちが、手ど知恵を出し合いながらおもちゃを分解・修理—。



違って嬉しいな!

これは糸島市子育て支援センターで毎月見られる「おもちゃ病院」の風景。実施するボランティア団体「おもちゃ病院 伊都国」(※)代表の波多江保彦さんは糸島市に生まれ、学生時代から約50年間東京に在住していた元電機メーカーの技術者。「65歳で退社を機に帰郷し

ました。まさに『平成の浦島太郎』でした。そこで「幸い気力も体力も十分だったので、今までもと違った視点から社会に貢献しつつ、新たな挑戦をしたい」と市民委員や地域の役員、ボランティアを次々に引き受け、地域で人脈を広げていきました。孫のおもちゃを修理したら「おじいちゃんはお医者さんだね」と言われたことをきっかけに、福岡市で「おもちゃ病院」のイベントに参加。「糸島でやっ

「ドクターは機械いじりが好きな人ばかりだから、中を開けて調べて動き方を理解して」と意欲苦闘するのが楽しみであり、生き甲斐なんです。趣味でやっていることが世間様に知られて認められ、「よかことしござる」と言われて、子どもたちが喜んでくれて、親御さんからも感謝してもらえるから私たちも嬉しい。子どもたちが科学技術への興味や物を大切にすることを促されたら」と波多江さん。今後は、不要なおもちゃを交換し合う「か



4人で活動をスタート。スタッフ集めや開催場所の確保、資金調達などに駆け回り、今では毎月定期的に開催しています。

2011(H23).07.23

リビング福岡中央
(中央区・早良区・城南区・西区・博多区・東区・糸島市・新宮町)

リビング福岡南
(南区・博多区・大野城市・春日市・太宰府市・筑紫野市・那珂川町・志免町)

西日本リビング新聞社
(<http://www.n-living.com/top.html>)



糸島市前原東2-1-25、奇数月第2土曜に波多江公民館(糸島市波多江駅北4-11-30)。いずれも無料(修理部品代実費)。イベントなどでの出張開設(区域外からの出張依頼や出張開設依頼もOK)や、小学校高学年や中学生、保護者対象のおもちゃ修理体験学習指導も行う。昨年度は約250点のおもちゃ修理を受け付け、福岡県の第8回市民教育賞(地域社会教育賞)受賞。会員(特にナース)募集中。問合せ090-9139-7186。ホームページ=http://www.geocities.jp/omotya_itokoku/ (『おもちゃ病院伊都国』で検索)

「よかことしござる」は福岡地方の方言で「良い事をしておられる」という意味の褒め言葉です

